

## 会議の開催結果について

- 1 会議名 令和2年度第1回上尾市総合教育会議
- 2 会議日時 令和2年7月28日(火)  
午前・午後11時00分から12時00分まで
- 3 開催場所 本庁舎3階 庁議室
- 4 会議の議題 (1) GIGA スクール構想(1人1台端末整備)について  
(2) 新型コロナウイルス感染症に係る取組等について  
(3) 不登校・いじめについて
- 5 公開・非公開の別 原則公開
- 6 非公開の理由 ー
- 7 傍聴者数 0名
- 8 問い合わせ先 秘書政策課  
(担当課)

# 会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回上尾市総合教育会議	
開催日時	令和2年7月28日(火) 午前11時00分～12時00分	
開催場所	本庁舎3階 庁議室	
議長(委員長・会長)氏名	畠山 稔(市長)	
出席者(委員)氏名	池野和己 教育委員会教育長、細野宏道 教育委員会教育長職務代理者、中野住衣 教育委員会委員、大塚崇行 教育委員会委員、内田みどり 教育委員会委員、小池智司 教育委員会委員	
欠席者(委員)氏名		
事務局(庶務担当)	秘書政策課	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) GIGA スクール構想(1人1台端末整備)について (2) 新型コロナウイルス感染症に係る取組等について (3) 不登校・いじめについて	(1) 説明のとおり了解 (2) 説明のとおり了解 (3) 説明のとおり了解
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 0名
会 議 資 料	別添のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">議長(委員長・会長)の署名 _____</p> <p style="text-align: right;">議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>		

## 議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。            只今から、令和2年度第1回上尾市総合教育会議を開会させていただきます。私は本日の司会を務めさせていただきます、市長政策室長の石川と申します。どうぞよろしく願いいたします。            それでは初めに、本会議の設置者であります畠山市長から挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>前回会議から7か月経ちましたが、卒業式、入学式、イベントも中止となり、3密を防ぐため、委員の皆様と会う機会もなかったが、その間に状況が大きく変わっています。            教育委員の皆様には、日々上尾の教育の発展に努めていただき感謝申し上げます。            今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国一斉休校になるなど、これまでに例を見ない事態となっています。            学習機会の確保や、子どもの心のケアなど、不安に思う声が市にも届いております。教育を取り巻く環境変化への柔軟な対応を求められているものと認識しています。            教育にも「新たな生活様式」を取り入れることで、これまで想定していなかった教育課題が生じることがあると思います。            これに的確に対応できる施策の立案に向け、本日のような会議で意見交換を行うことが、非常に有効であると思っています。            今回の議題にあるように、GIGA スクール構想 1人1台端末整備について、新型コロナウイルス感染症に係る取組等について、そして、不登校・いじめについてです。ぜひ活発な意見交換を行いたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。            今後も、上尾の子供のために、本当に必要な施策を速やかに実施できるよう、皆さま方と共に一層連携を強化していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。本日はよろしく願いいたします。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>ありがとうございました。            本日は、年度が替わりまして、第1回目の会議になりますので、事務局職員の紹介をさせていただきます。            (井上市長政策室次長兼課長・水城主事)            よろしく願い致します。</p> <p>それでは、早速、会議に移らせていただきます。            会議の進行につきましては、上尾市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、畠山市長をお願い致します。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、要綱の定めにより議事を進行させていただきます。</p>

事務局	<p>皆様のご協力をお願いいたします。  それでは、次第に従いまして進めて参ります。初めに、本会議の公開について、本会議は原則公開となっております。  事務局に確認します。本日、傍聴を希望される方はいますか。</p> <p>本日傍聴者はありません。</p>
市長	<p>事務局から「傍聴者なし」との報告がありましたので、会議を続行いたします。  それでは、議題の（１）「GIGA スクール構想（１人１台端末整備）について」の説明をお願いします。</p>
教委事務局 （教育総務部長）	<p>&lt;別添資料のとおり&gt;</p>
市長	<p>ありがとうございました。  一通り説明がありました。これにつきまして、意見交換をしたいと思います。何かありますでしょうか。</p>
内田委員	<p>端末は５年間のリース契約とし、充電保管庫は購入とあるが、この違いを教えてください。</p>
教委事務局 （教育総務部長）	<p>充電保管庫については文科省の補助金を活用し整備するため、リースではなく購入となります。</p>
内田委員	<p>端末機種が変わっても、充電保管庫は継続して使えるということで購入とするのでしょうか。</p>
教委事務局 （教育総務部長）	<p>端末充電ということで、クラス全員分の端末が全て収まる保管庫となっています。授業で使い終わったら保管庫に入れて保管をします。</p>
内田委員	<p>それは理解しているが、端末機種が変わることで充電器が変わることはないのですか。</p>
教委事務局 （教育総務部長）	<p>対応できると理解しています。</p>
小池委員	<p>１人１台端末になるということで、学習の面でも大いにいろいろな展開ができるので期待している。端末というのは、例えばクラスに３４人いたとして、個人個人専用に貸し出すということなののでしょうか。</p>
教委事務局 （教育総務部長）	<p>専用になります。</p>

小池委員	例えば年度が変わり、中学3年生が卒業したら、次に入学してくる1年生に回るといいますか。
教委事務局 (教育総務部長)	そこまでは決定しておりません。
小池委員	新たにリースするという事ではないのですか。
教委事務局 (教育総務部長)	追加リースするという事ではなく、それを活用するという事です。
小池委員	必然的に、3年生が卒業して余ったタブレットを新1年生が使うということになる。
教委事務局 (教育総務課長)	補足。児童・生徒一人一人のアカウントを作成するので、異なる端末であっても、そのアカウントにログインすれば同じ環境になります。年度内は、基本的には同じ端末を使うこととなりますが、年度替わりで端末も持っていくかは、運用面の話になるので、学校により異なる場合があります。
市長	マイタブレットの方が使いやすいと思う。
教育総務課長	基本的には1年間は同じものを使う想定です。
内田委員	気持ち的には小学校1年生から、ずっと同じものを使っていたいという気もします。
教委事務局 (教育総務課長)	それも一つの方法です。まだ教育委員会として運用を決めていない部分もあるので、今後どのようにするか、補償の面もあります。
教育長	机と椅子を中学校では、学年が上がってもそのまま3年生まで使う学校と、そうではない学校がある。よく言われるのは、入学時に卒業まで同じものを使うことを指導することで、大事に使ってくれるということがある。 これだよと指定し、6年生まで同じものだと大事に使ってくれると思う。
市長	タブレットによってデータ保存内容が異なるのか。
教委事務局 (教育総務課長)	データは端末本体に保存するという事は考えていません。クラウドに保存されることになる。例えば児童生徒1人1人がアカウントを作成すれば、どの端末でログインしても同じ環境にすることができます。
細野教育長職務	GIGA スクール構想の端末を、例えば私が持つとして、学校に行って

<p>代理者</p>	<p>いる間は充電保管庫から出して使うとします。四角形の内角の和は360度だが、平行四辺形になるとどうなるかという問題があるとき、長方形なら90度が4つあるから360度と分かるが、平行四辺形になった途端、それが分からないという子が何人いるか、個々の能力を先生が把握して、次の授業をどうするか考える。学校だけの端末でやって、家に帰ってこういう問題をやってくださいといったときに、この端末を学校の充電保管庫に保管してしまうと、家で何もできないという仕組みが不思議であったが、説明にあった個人アカウントがあれば、家に帰ってもパソコンからクラウドにログインできるから、それで問題を解いて、学校に行ったら、保管していた端末にも回答データがあるので、それを先生が確認することもできるので大変期待をしています。</p>
<p>教委事務局 (教育総務課長)</p>	<p>家庭内でという話がありましたが、アカウントは学校内でしか利用できない可能性があります。学校のサーバー、クラウド上にあり、教育用のサーバーになり、家庭からは入れない。そうすると持ち帰らなければいけないことになるが、通信料の問題になってくる。</p>
<p>中野委員</p>	<p>GIGA スクール構想を実現するには莫大な予算が必要であると思いますが、実際に各学校で学習指導を進めていくのに、教員にICTのエキスパートはいない。支援員を何校かに1人配置する計画はありますか。</p>
<p>教委事務局 (教育総務課長)</p>	<p>文科省でICT支援員をパッケージで用意しており、先生方の負担も大きなものがあるので、先生達を支援するために整備していきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>各市町村で整備するのか。</p>
<p>教委事務局 (教育総務課長)</p>	<p>市町村で学校ごとや、数校に1名などを配置することになります。</p>
<p>大塚委員</p>	<p>1人1台ということで、物としては皆が使えるということだが、今後の環境整備として、通信環境の問題も含め、万一、学校に行けなくなった際に、家に端末を持ち帰ることができなくなってしまうと、あとは地域の拠点みたいなものや、図書館や公民館など、各家庭ではできなくても、地域的な拠点を作って、そこで分散して通信してzoom等で授業を行う用意ができれば、莫大な予算がかかりますが、これは用意しておかないと、今後、コロナのように突然来てしまう。今までであれば、もう少しゆっくと整備していけばよかったことが、突然にこう来てしまうようなことになりますから、そういった予算を子どもたちの教育、通信に対する予算を今後大きく頂かないと揃わない、整わないので、お考えいただければと思います。</p>
<p>教委事務局 (教育総務課長)</p>	<p>地域の拠点という話があったが、1人1台端末整備、各家庭への通信費を考えたときに、一つの方策として、戸田市が行っていますが、</p>

	<p>公民館と図書館に Wi-Fi スポットを設けて、通信環境を得るという方法もあります。しかし、実際の運用を考えたとき、コロナ禍だと、公民館が閉まっていることがありまして、現実的ではないのかなという部分がありました。</p> <p>1人1台端末整備するにあたり、各家庭での環境整備も大切なことと考えておりますので、一つの方策として保護者がレンタルで Wi-Fi ルーターを用意し、その費用に対して補助金を出す自治体もあります。様々な方法を検討する必要があります。</p>
市長	<p>おおよそ何割の家庭に通信環境が無いのか。</p>
教委事務局 (教育総務課長)	<p>国は2割と想定しているが、本市では1割程度を見込んでいる。</p>
市長	<p>その世帯は、端末を家に持って帰っても使えないということか。</p>
教委事務局 (教育総務課長)	<p>はい。現在、各学校にて調査をしており、詳しい数字が判明します。</p>
内田委員	<p>家庭環境的に難しいご家庭は、学校に来ていただければ、分散登校的な意味合いもあって、1割程度ということであれば各校数名かと。家庭環境的に設備がある家庭は各自宅で、ない家庭は学校でということに。</p>
教育長	<p>学校は閉じたわけではないので、先生方は必ず誰かいるようにした。分散登校の前に、一番大事なことは心のケアだったので、十分に面倒見てあげないと厳しい家庭もある。そういう家庭には積極的に、校長先生には、呼ぶなり家庭訪問するなりして、本人の健康状態や、児童虐待やいろんな心配も、当然これだけの市ですからお子さんもいらっしゃるの、呼んでいた。時々、学校には顔を出していただいていた。また、同じようになつては困りますが、何かあったときには学校にはいるので、学校で学習し、個人学習をしてもらおう。</p>
市長	<p>ということは、平日も家に帰ってタブレットで学習できるのか。</p>
中野委員	<p>Wi-Fi 環境が整っている家庭は、持ち帰っても大丈夫。</p>
市長	<p>環境が整っていない家庭は、一旦、学校に戻って学習ができる。</p>
教育長	<p>学校が臨時休業になった場合は、学校に来てもらって、1時間なり2時間なり整えておく。</p>
市長	<p>持ち帰りができるとして、クラスに2～3人いる Wi-Fi 環境がない家庭の子は、学校終わってから学校や拠点で利用するということか。</p>

<p>教育長</p>	<p>公共 Wi-Fi があるところであれば大丈夫です。ただ、教育総務課長の説明にあったように、今後どのように展開していくのかによりますが、クラウド上に保存してあるもので学校で整理するとすると、家庭に持って帰ったとき、同じものを学習で継続してやることができない。全てがオンラインではないので、一体で使えるようになれば、これだけ需要があるのだから、新しいものをどんどん供給側もいろいろ考えてくれる。また新しい製品が開発されてくるのは間違いない。</p> <p>まずは、いま進めていただいている方向性、ベクトルは間違いないと思っています。本当にありがたい。</p>
<p>細野教育長職務 代理者委員</p>	<p>最終的な仕様を見ておりませんが、おそらくクラウド上にあるデータは共有データになるが、タブレット端末のパーソナルな部分にデータを落とし込むこと、ダウンロードができますので、そこに落とし込んでおけば、家庭に Wi-Fi 環境がなくとも、タブレット単体でやることは可能である。それをタブレットに保管しておいて、学校に持っていき、Wi-Fi に繋いで共有データにアップロードすることで、全員で共有することができる。このような使い方もできるかと思います。</p> <p>とにかくコロナにより、GIGA スクール構想が早まったので、ぜひ国の予算を活用し、市も予算に入れていただかないと全体として進みませんので、教育委員としてはぜひ市長にお願いをしたいと思っています。</p>
<p>教委事務局 (教育総務課長)</p>	<p>端末については6月に補正予算でいただいています。</p>
<p>細野教育長職務 代理者</p>	<p>通信料についてはどうですか。</p>
<p>教委事務局 (教育総務課長)</p>	<p>仮に1,600世帯ということで1年間、一月5,000円程度のWi-Fi環境に入るとすると、年間で1億円くらいかかってしまいます。1億円かけて、常にWi-Fi環境を使っているかということ、使わない。それでも継続して支払っていく必要があるのでは非効率的。違った方法を考えていかないといけないと考えています。</p>
<p>中野委員</p>	<p>水を差すようで申し訳ないが、私は、期待は凄く膨らむのですが、これからは教員の役割は随分違って来るだろうなど。いわゆる教育の三種の神器である、黒板、教科書、ノートです。それが日本の教育でした。これに加えて、新しい方法で良い教育環境になることは大変嬉しいのですが、そういう過渡期というか、どのようにして、今まで行っている授業のデザインみたいなものが変わってきてしまうので、今の話にあったように、急に環境をどんと整備しても、そういうことが追いついていかないな、逆に環境を整備していかないとそういうことが進まないなど。これからの授業が変わるわけだから、どのようにして新しい方法に繋げていくのか難しいなと思いました。</p>



<p>市長</p>	<p>突然、コロナの話になって、GIGA スクール構想の整備を張り合っているようなことになって、中野委員からあったように、教員の指導力の問題が出てくる。今日は大事なテーマをいただきましたので、次回がまたかなり先の開催ではありますが、取り組みは進めていただきたいなと思っています。</p> <p>他にないようでしたら、議題（２）新型コロナウイルス感染症に係る取組等について、説明をお願いします。</p>
<p>教委事務局 （学校教育部長）</p>	<p>&lt;別添資料のとおり&gt;</p>
<p>市長</p>	<p>学校教育部長からひと通り説明がありました。これにつきまして、意見交換をしたいと思います。</p>
<p>内田委員</p>	<p>心のアンケートのことで、学習の面で心配されている。中学３年生がこれから受験を迎えるにあたって、学習の遅れがあると思うが、そちらの方の対策は何かあるのでしょうか。</p>
<p>教委事務局 （学校教育部長）</p>	<p>新聞報道でもあるように、入試の内容については、削減され、対象としないことが示されたところであります。アンケートの中でも中学１年生の回答で、不安があるが９％、中学３年生も９％と少し高くなっている。特に中学校３年生では、高校受験を控えて、やはり学習内容がいつ終わるのかなどの不安や、訴えがあります。丁寧に授業時数を各学校で算出し、きちんと終わらせるということで、見通しを持って進めているところです。</p>
<p>中野委員</p>	<p>９月あたりから、私立高校について、業者の方の試験の成績が対象になってしまうと思います。そうすると、業者の方のテストは、このコロナ禍の授業内容に対して、少し配慮のようなものがあるのかどうか疑問。授業的に遅れていても一応、私立関係は関係なく学校では変わりなくやっているのか。</p>
<p>教委事務局 （学校教育部長）</p>	<p>この１学期の成績は、小学校では状況を見ながら、所見等だけで通知表をとることができるが、中学校に関しましては、きちんと１学期の成績を出しております。それを私立高校の相談に対応できるようにという配慮もありまして、受験生に不利にならないような対応を、中学校長会も含めて、連携を取って進めていきます。</p>
<p>教育長</p>	<p>県公立高校については、かなりカットしてくれているので、多分、埼玉県下、ほとんど埼玉県下なので、中学３年生にはほとんど影響がないのではないかと考えている。中学校長会にも、教育長会にも全部、私立高校協会の方にも同じこと出しているんですけども、まだ私立の方はどうなるのか分かりません。私立は一応、協会を持っているんですけども、やっぱり全て経営ですので、一枚岩になるかどうかは難しいところがあって、最後まで、受験生からすると、</p>

	<p>不安が尽きないかなど。特に上尾市の中学生は、都内私立も受けに行くので、都内私立までは影響を及ぼせませんから、ある程度覚悟して受けてもらうしかない。一部の業者のテストについても結局できなかったんですよ。6月と7月はどうしたのか調べたところ、自宅で回答して採点する形にしたとのこと。中学校長会にも聞いてみたら、やはりこれが問題になっていて、結局私立の方が相談の時に、それだと自宅で受けているだけである。中学校長会の方では、特に南部は一枚岩でやっていますので、校長会テスト。この8月の終わりにやるんですけど、川口を中心にできるだけ期間をあまり広げないで、やりたいというところで調整中。この調整ができれば、私立の方は、埼玉県下全部ではなく、南部だけは校長会テストを持っていくことで、相談に乗ってくれるのとことで、やってもらいたいと話した。多分、私立協会はこれで分かりましたと言ってくれると思う。あとは、日ごろの学校の学習の心配。9月、10月ごろはどうなるのか。9月、10月からは特に受験相談の時も基礎資料になるので、だけど三密の関係もあるので、果たして受験させてやれるかどうか微妙ですよ。だから業者テストの方が、今回なかなか厳しいのではないかと。校長会テストは間違いなく対応してくれるので。</p> <p>小学校の方で、私立中学を受験することになると、公立、私立の協会は実は埼玉県には無い。だから、私立中学校は何ともならないのではないだろうか。そういう意味では私立高校は大丈夫。県も入っている。</p>
市長	<p>その他ございますか。</p>
中野委員	<p>今、子供たちが学習している状況を見ると、なかなか定着していない。やっぱり環境はいろいろ違いますから、それによる格差が大きくなっています。今は先生方も大変なので、日々の宿題は、自分たちが昔教員やっていたころは、宿題を出したら、責任を持って教員が見るということで、次の日に必ず提出させて見ていたのですが、今見ていると子どもたち自身が、丸つけているんですね。回答を見て。だから夏休みの課題なんかを見ても、みんな保護者が丸つけをして提出する。しかし、そういう状況だと、例えば、掛け算、ひっ算で掛け算をしているのを見ると、無茶苦茶なんです。3桁の計算にすると、列が全然めちゃくちゃで、計算の繰り上がりもあると、きちんと答えを出すことが難しいという状況です。小学生にとって、先生方も忙しいと思いますけれども、家庭学習の見取りだとか、いろんなことで、手をかけてあげないと、なかなか学力が定着しない。</p> <p>自分で、答えの分からない子は答えをそのまま写しちゃう子もいると思います。</p>
市長	<p>学習の定着ではなく、ずる賢さの定着になってしまう可能性がある。</p>
大塚委員	<p>間違えると、お母さんに怒られると思って、間違えたくないという心理が働くと、分からないところの答えをちらっと見てしまうという</p>

	<p>ことはある。</p>
中野委員	<p>中学校もそうだと思います。計算ドリルなど。</p>
教育長	<p>必要なことはやって、そうでないものは、カットすれば良い。 だから保護者は怒っているのではないか。さいたま市では苦情が多くて教育委員会が大変だったみたいです。</p>
市長	<p>他にないようでしたら、議題（3）不登校・いじめについて、説明をお願いします。</p>
教委事務局 （学校教育部長）	<p>&lt;別添資料のとおり&gt;</p>
市長	<p>学校教育部長からひと通り説明がありました。これにつきまして、意見交換をしたいと思います。</p>
内田委員	<p>中学校のときに不登校であった生徒が、不登校であったこと前提の高校に行ったのですが、その学校はタブレットで授業する前提で、配布をして、この4月からZOOMでの授業だったそうです。受けられているかと聞いてみると、受けやすいそうです。学校に行くまでが、中学校の頃は、周りの友達に会うということもあり、学校に行けなかったけれども、タブレットで勉強しているので、朝の9時になったならば、どんな格好でも前に座ることができて、勉強できているということを知りまして、来年度からタブレットが支給されるということであれば、すごく期待したいなと思っております。</p>
市長	<p>引きこもりの子も受けやすいのではないだろうか。</p>
教育長	<p>受け皿も少しずつではあるが充実してきており、これまでの変化を見ますと、フリースクールに通っている子が上尾の中学生も今まで一番多くなってきている。フリースクールもだんだん充実してきておりまして、以前は東京にしかなかったけれども、埼玉県の大宮が拠点になってきている。大宮のフリースクールに上尾の子が今17人、小学生1人と、あとは中学生。それぐらいの子どもたちは、フリースクールにはだいたい毎日通っていて、内田委員が事例で挙げていただいたように、通える子は通い、通えない子については、家で授業をフリースクールの先生がZOOMで授業を発信していて、聞いたところ全く登校していないという子もいる。しかし、ZOOMで全部繋がっていて、双方向でのやり取りをフリースクールは充実してやっているので、特にこのコロナ禍の中では、フリースクールではほとんど全部がZOOM。やはり登校させられないということでやっていた。これからの大きな力になるなど。ただ、上尾市の中でも、GIGAスクール構想の中で充実していく中で、今度はこれも使いながらやるよということで、部長の説明にもあったように、早々と主幹が中心になって、教育センターの方か</p>

	<p>ら ZOOM でやりとりすることを、試行段階ではあるが始めている。あと、スクールソーシャルワーカーを 8 人にしていただいた。本当にありがたいのは、サテライト相談というのを今改めて、今年からやっというとしていて、以前は家庭と教育センターと学校を繋いでやっていましたが、少しずつ、教育センターまで来られない子を、近くの公民館で約束して、少し時間を過ごすとか、少しずつ少しずつ行動範囲を広げていくということも、8 人態勢にさせていただいたおかげで、少しずつ良い方向に向かっております。しかし、それでも足りないくらい増えているのは事実です。ただ、そのフリースクールの良いところは、高等学校の卒業認定ができるのと、フリースクールがだいたい、中学校と高校両方持っているので、中等部に入って、そのまま高校に進むことができる。例えば、有名人がフリースクールにいっぱい入ってくれているおかげで、フリースクールが特別なものというイメージが無くなってきている。例えば、フィギュアスケートの紀平選手、鍵山選手がフリースクールです。スケートの練習をする関係で、高等学校だと通えないので、もう N 中等部や星槎学園に通っているので、結構その名前が出るようになってきている。文部科学省も学校ありきではなく、子どもの居場所づくりが大事だと言っていたのが、だんだん全体的に少しずつですけど、浸透してきている。</p>
市長	<p>通いやすくなっているということですね。</p>
細野教育長職務代理者	<p>自己有用感についてですが、子どもたちは自分が必要とされているなど、声をかけてもらえたり、気にされているなどというのがいいと思った。ZOOM を使って、朝「おはよう」や「何時に起きた」というたった一言の。教師との接続というか、それが今までだと、なんとかして学校に戻すという考えだったのが、今は違っています。そういうことを尊重しながら、子どもたちの学習を育てていく、子どもたちの自己を育てていく、そうすることで自己有用感が育成されて、あっじゃあ先ほど教育長が言われたように、ここまで行ってみよう、できたから次はここ、最終的には学校に行こうとなればいいなと思う。</p> <p>是非、いじめの問題も、今年は GIGA スクールもあるので複合していかないと、子どもは育たないのかなと。難しい環境、社会になっている。</p>
市長	<p>そういった意味では、オンライン授業をすることで、効果があるのかと。</p>
中野委員	<p>やることが 1 日に何かあって、できるということが大事。その時に、今回スクールソーシャルワーカーが 8 人態勢ということで、増員いただき感謝申し上げます。</p> <p>8 人ということは、小学校が 2 2 校で、2、3 校に 1 人配置されるという計算になる。中学校にはさわやか相談員がいます。そうしたときに家庭を関係機関と連携しながら、支援するという意味で、家庭に閉じ籠って何もできず、ゲーム依存になっている子どもたちの家庭に</p>

細野教育長職務 代理者	<p>風穴を開けたいと思っております、学校から教育センターの方に申請をしなければスクールソーシャルワーカーは動けないのです。ですから、積極的に活用してほしいです。</p> <p>スクールソーシャルワーカーを8人にしていただき、本当にありがとうございました。以前から私、口酸っぱく言わせていただいております。</p>
大塚委員	<p>スクールソーシャルワーカーは年間4,000件の相談を受けており、1人500件受けていることになり、大変な作業をされているなと思っておりますので、これからの環境づくり、仕組みづくりを段階的に、今の時代に合わせたものを作っていくってほしいです。</p>
市長	<p>他に無いようでしたら、議題の(4)その他に移ります。何かございますか。事務局からは何かありますか。</p>
事務局 (市長政策室次 長兼課長)	<p>次回の会議の予定でございますが、定例教育委員会に併せて11月頃、開催したいと考えております。また、時期が近くなりましたら、ご連絡申し上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>事務局から説明がありましたが、何かご質問はございますか。今回は11月ということです。</p> <p>他に無いようでございますので、これで議事はすべて終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。</p> <p>大変有意義な会議であったと思います。新型コロナウイルス感染症の影響により試行錯誤の日々が続いていると思いますが、上尾の子ども達のために、今後も行政と教育委員会とがより一層連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
司会 (市長政策室長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、会議の閉会にあたり、教育委員会を代表いたしまして、池野教育長からご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
教育長	<p>最初の市長からの挨拶でも触れられましたが、昨年度の第3回が12月26日ということだったので、そのときにまさかこういう状況になるとは全く想像もつかなかったわけであります。そして、本日、令和2年度の第1回の総合教育会議を開いていただきましてありがとうございました。前回の時には、今年度策定する第三期の教育振興基本計画の基本理念についても、事務局の方で準備しておりますが、次回にはそういうことも含めて、市長にも新しい計画の一番基になる基本理念を、教育委員さんにもご意見をいただき認められるといいかなと思っております。</p> <p>本当に、今日のご多忙の中ありがとうございました。簡単ですが挨拶とさせていただきます。</p>

司会  
(市長政策室長)

ありがとうございました。以上で令和2年度第1回上尾市総合教育  
会議を閉会いたします。